

CLIP

2019

春号

NO.2

2019年3月1日発行

伊賀市市民活動支援センター情報紙「くりっぴ」は、市民活動やNPOに興味のある人に向けて発行しています。活動する上で、必要な情報や各団体によるイベント・講座、ボランティアの募集などをお知らせしています。

「はじめてのNPO・市民活動」講座始めます!

当講座は、市民活動に興味のある人、活動を始めたいと考えている人を対象に、

◎NPO・市民活動の基礎知識を学ぶことでNPOの社会的意義を理解する

◎市民活動団体の立ち上げについて考えておくべきこと、準備しておくことよいことを学ぶの二点を目的に開講します。

受講希望者1名から随時申し込みを受け付けます。ただし、事前に予約をお願いします。
詳細は下記のとおりです。

1. 開講日時 月～土曜日午前9時30分から午後4時30分までの間の約1時間（予約制）
（年末年始：12月29日～1月3日、センターの行事がある日を除く）
2. 会場 伊賀市市民活動支援センター 情報・交流スペース
（伊賀市ゆめが丘1-1-4 ゆめぼりすセンター内）
3. 参加対象者
市民活動に興味のある人、活動を始めたいと考えている人
4. 内容（予定）
 - ・パワーポイントによる講義
 - ・受講者からの質問、相談対応

【お問い合わせ・申込先】
伊賀市市民活動支援センター

* 開館日と時間

月曜日～土曜日 午前9時～午後5時

（12月29日～1月3日は休館）

伊賀市ゆめが丘1-1-4（ゆめぼりすセンター内）

TEL：22-1511 メール：igasksc@ict.ne.jp

ブログ：http://blog.canpan.info/igasksc/



活動団体を紹介します！

諏訪住民自治会

【諏訪住民自治会】(2018.3.31 現在)

会長:花本 卓郎

会員数:506人

世帯数:205戸

高齢化率:47.8%

2018.11.1取材



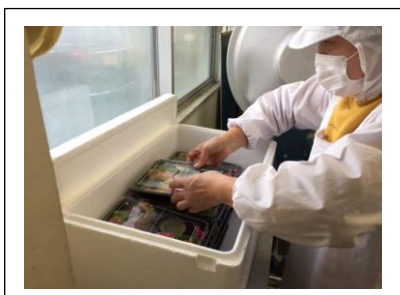
今回は、高齢者配食サービス事業を行っている「諏訪住民自治会」を紹介します。

諏訪地区は、高齢化率が45%を超えており、ひとり暮らしの高齢者の割合が高い地区です。一方で、三田から滋賀県へ通じる新しい国道422号線バイパス道路ができ、諏訪地区へのアクセスが非常に良くなりました。

この地域の未来に危機感を感じながら、地域活性化につながることはないかと地元の人たちが一歩踏み出したのが、高齢者配食サービス事業です。

○ この事業を始めるきっかけ

新しいバイパス道路ができて車の交通量が増えることを考えた時に、車がただ通り過ぎるだけの地域になってはもったいない、なんとか人を呼び寄せ、諏訪地区の地域おこしとなるいい方法はないだろうかと地元の有志が集まって、話し合いました。話し合いの中でカフェを開いてはどうかという意見が出ましたが、潤沢な資金がないし実現するノウハウもありませんでした。すると、数人の女性メンバーから、「高齢者向けに弁当を作り、配達するサービスをやりたい。」という声が上がりました。ひとり暮らしの高齢者や高齢の夫婦が増えているので、配食サービスの需要があることはわかっていましたし、目標とするカフェを始めるのに、この事業で得られる経験を活かすことができるのではないかと考えました。そして、「まずはこの地域内を元気にしていくんだ！」という目標を持って、2017年6月から高齢者配食サービス事業をスタートしました。



弁当を積み込み...

○ 高齢者配食サービス事業の活動内容

このサービスは登録制で、利用したい人に登録をお願いして会員になってもらいます。1食500円で、毎週木曜日に配食サービスがありますが、月1回、毎週など、回数は会員の希望にお応えしています。現在、注文数は1回に約40食まで増えました。

調理スタッフは常勤が5人、非常勤が2人いて、基本的に1回4人で午後1時から午後4時30分まで活動しています。

配達スタッフは総勢4人、1回2人で20食ずつ、地区分けして配達しています。集落が固まっているので、配達に要する時間は30分で済みます。わずかですが、どちらのスタッフにも賃金をお支払いしています。

弁当のメニューは、調理スタッフが話し合っ決めていきます。決められた弁当箱にきれいに納まるよう、栄養のバランスを考えて選んでいます。調理に使う野菜は地元の農家からいただいたもので賄っています。

また、配達スタッフは、高齢者の見守りも同時に担っています。実際に、弁当の配達時間に自宅にいるはずの男性が居ないことがあり、スタッフが探しに回り、見つかったことがありました。その時はホッとしました。このサービスを利用する高齢者がもっと増えれば、高齢者が安心して暮らせる地域になると思います。



配達スタッフにバトンタッチ



○ これからの目標は？

冒頭にも話しましたが、散歩の途中に立ち寄れて、簡単な食事ができるようなカフェを作りたいです。また、高齢者にも利用していただき、おしゃべりしたり食事をしたりできるようにしたいです。

また、このカフェと地区内の餅・ベーグル・豆腐販売店の三店舗を結び、散歩コースを作りたいと考えています。歩くにはちょうど良い距離で、春は桜、秋は紅葉、冬は雪と、四季の移り変わりが肌で感じられると思います。

そして、ゆくゆくは国道を通る人が車をここで止め、散歩や食事をし、地元の物を買ってくれたらいいなと思います。

諏訪自治会の活動をもっと詳しく知りたい方は、伊賀市市民活動支援センターブログ
カテゴリーアーカイブス「市民活動団体を紹介します」をご覧ください

<http://blog.canpan.info/igasksc/>

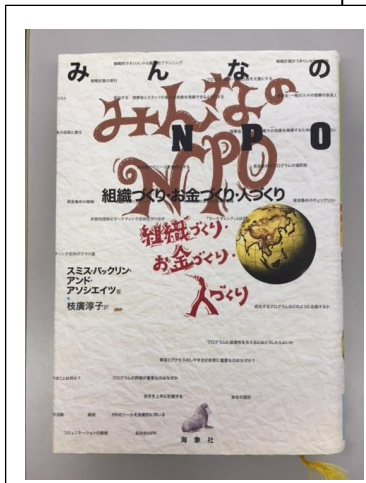
貸出し図書

みんなのNPO ～組織づくり・お金づくり・人づくり～(1999年) スミス・バックリン・アント・アソシエイツ著/枝廣淳子訳

「21世紀のことはNPOに聴け！」というキャッチフレーズの本。事例豊富なNPO先進国アメリカの現場に学ぶ。実践の場で紡ぎ出された「知恵」を集大成。企業経営の戦略書としても応用可能なNPO運営の完全ガイドブック

特定非営利活動法人事務の手引き一認証編一

三重県が作成している法人認証の手続きのためのマニュアル本
基本知識から様式作成例まで、詳しく記されています。法人化を考えている方は必読の一冊！



注目のサイト

CANPAN FIELDS 日本財団が運営するコミュニティサイト

検索エンジンで、「canpan」と入力すると、ヒットするサイトです。CANPANは日本財団のサイトで、公益活動をするみなさんをサポートするサービスが盛りだくさんです。今までやってみたかったことが、CANPANで実現できるかもしれません。(例：自分たちの団体ブログが作成でき、発信できる)ユーザー登録は無料です。公益活動に興味をもっている方ならだれでもご利用になれます。

伊賀市市民活動支援センターで団体登録を!

伊賀市市民活動支援センターでは、市民のみなさんが自主的に行う住民自治活動、NPO 活動やボランティア活動をサポートするため、いろいろな事業を実施しています!

市内に居住・勤務・在学している人で構成する活動団体などが、当センターに登録手続きをすれば、次のサービスを受けることができます。

1. 情報発信ができます

チラシをセンターに設置・ブログにアップ
地区市民センター・公共施設に配布
団体活動を紹介します!

2. 印刷ができます

白黒片面印刷 1 円/枚、両面 2 円/枚
紙代 A4 1 円/枚、A3B4 2 円/枚
用紙持ち込みも可

3. みんなの交流の場を提供します

情報交流スペースを開放しています
メールボックス・ロッカーを使用できます

4. 相談を受けます・紹介します

活動に関する相談
団体のコーディネート、ボランティア紹介など



◇ 2018 年度伊賀市市民活動支援センター利用状況(4 月～1 月) ◇

利用目的	情報交流スペース	印刷機	市民活動相談	ブログ訪問者
件数(件)	196	800	204	36,197

編集後記

平成 30 年度から始めた「くりっぴ」は、9 月と 3 月に発行しましたが、来年度は、7 月と 1 月に配布する予定です。情報は鮮度が大切なので、旬の情報をタイミングよく皆様にお伝えするためです。

今年度は、伊賀市市民活動支援センターの存在自体あまり知られていないと思い、広報「いが市」9 月 1 日号に掲載しました。市民活動というと難しく感じますが、周りのみんなが幸せに暮らすために自ら工夫して行動することが市民活動だと考えています。身近にそんな人がたくさんいると思いませんか? グループでも個人でも……

活動する上での相談がなくても、「私はこんな活動をしています」と話をしに支援センターに来てください。大歓迎です! 同じような仲間があなたを待っているかもしれません。

そして、仲間がつながり、地域を良くする活動が広がればいいなと思います。

(k)

